

川上ダム建設は本当に必要でしょうか。だれのために、何のために必要なのでしょう。住民合意はいつの時点であったのでしょうか、それは今の社会状況の中で有効なものでしょうか。

1) 貴重な自然環境が壊れます

絶滅危惧のオオタカが営巣していることが明らかになりました。特別天然記念物のオオサンショウウオの生息も確認されています。子や孫に引き継ぐ貴重な遺産でもある生態系の清流ですのに、環境アセスも10年が経過していますので、再調査が必要と思われます。

2) 活断層など地質が心配です

三重県の調査では、川上ダム周辺には活断層がありますが、それに対して構造的な対応がされているのでしょうか。

3) 下流の都市型洪水防止事業は終わっています。

治水対策はこの40年間で公共事業で対応済みです。上流でのダム建設ではなく、流域全体で今後も総合的な河川対策・治水対策・森林整備等による「緑のダム構想」で対応すべきです。

4) 水道料金の大幅値上げになります。

各自治体の水需要は40年前の見通しより下回っており、水道用水は各行政区で確保できています。

ダムの水価は419円/tと言っていますが、現行の120円/tに比べると3.5倍になります。又なぜ上野市まで流れて行った汚い水をわざわざポンプアップして青山町にさかのぼってもらう必要があるのでしょうか。

5) 本当に必要なダムが、なぜ完成まで40数年~50数年ほっておかれるのでしょうか。本体工事完了も10年は遅れる見通しのようですし、周辺整備もほとんど進んでいません。この際ダムは中止・凍結するべきと考えます。青山町民の税負担が増えるばかりです。